

保護者様

京都市立深草小学校  
校長 土井 則夫

## 令和7年度 学校評価アンケート(2月実施)の結果

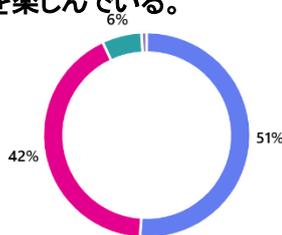
啓蟄の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。平素は本校教育にご理解、ご協力を頂き、誠にありがとうございます。

さて、2月に行いました学校評価アンケートの結果についてご報告いたします。アンケートは保護者、児童から調査を行い、グラフに表しました。今回、保護者の皆様からは386件の回答(回収率約52%)をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

アンケート結果を今後の学校運営に活かしていくよう、努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

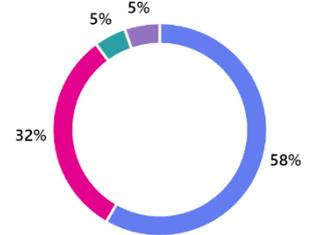
### ① (保護者)子どもは学校生活を楽しんでいる。

● そう思う	51%
● 大体そう思う	42%
● あまりそう思わない	6%
● そう思わない	1%



### (児童)学校が楽しい。

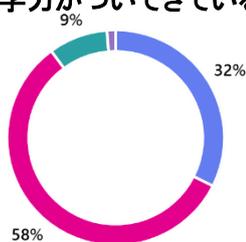
● そう思う	58%
● 大体そう思う	32%
● あまりそう思わない	5%
● そう思わない	5%



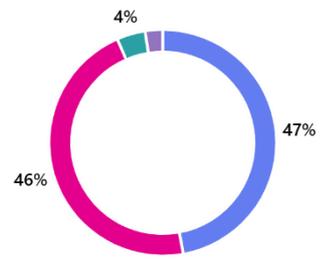
児童も保護者も、90%以上が「学校が楽しい」と思ってくれていることは大変うれしいことです。しかし、前期と比べると、少しだけですが下がっています。集団生活を送る中では、自分の思うようにならず、様々な悩みや困りを抱え、楽しくないと感じることもあるかと思えます。「あまりそう思わない・そう思わない」と回答した子に対しては、学校として寄り添い、困りごとや不安がある場合には解決に向けて一緒に動いていきたいと考えています。今後も、一人ひとりが安心できる居場所を見つけられるように日々の教育活動を進めていきたいと思えます。

### ② (保護者)子どもには、基礎的な学力がついてきている。(児童)授業がよくわかる。

● そう思う	32%
● 大体そう思う	58%
● あまりそう思わない	9%
● そう思わない	1%



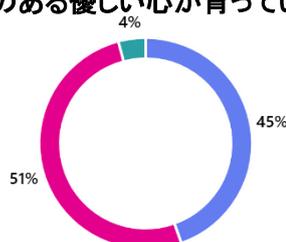
● そう思う	47%
● 大体そう思う	46%
● あまりそう思わない	4%
● そう思わない	3%



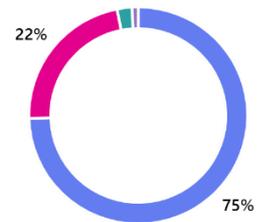
アンケートでは、90%以上の方が肯定的に捉えてくれていますが、基礎的な学力の定着や向上に関しては、まだまだ課題が残ります。一時間一時間の授業においては、その時間のめあてについて学びを深め、わかったと思えたとしても、ジョイントプログラムの結果などからは、定着に至っていない状況がみられます。家庭学習を中心に、くり返し課題に取り組むことで、基礎的な学力をしっかりと積み上げていきたいです。

### ③ (保護者)子どもは、思いやりのある優しい心が育っている。(児童)友達や家族を大切にしている。

● そう思う	45%
● 大体そう思う	51%
● あまりそう思わない	4%
● そう思わない	0%



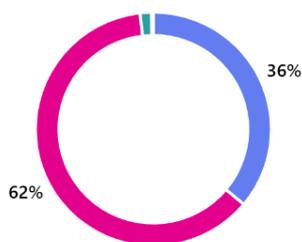
● そう思う	75%
● 大体そう思う	22%
● あまりそう思わない	2%
● そう思わない	1%



アンケート結果からは、子どもたちが「思いやり」の気持ちをもって、学校生活を送っていることはよくわかります。困っている友だちに声をかけたり、率先してお手伝いをしたりする姿が、どの学年でもたくさん見られます。友だちとのよい関わりや前向きな言動をしっかりと認め、全体に広げていくことで、学校全体が温かい雰囲気で見守られるようにしていきたいです。

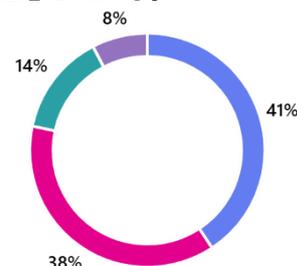
④ (保護者)お家では、子どものよさを認め、その子のよさを伝えている。

● そう思う	36%
● 大体そう思う	62%
● あまりそう思わない	1.8%
● そう思わない	0.2%



(児童)自分にはよいところがあると思っている。

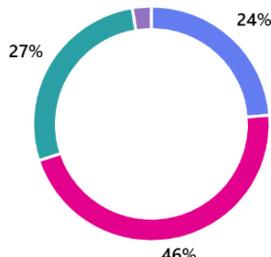
● そう思う	41%
● 大体そう思う	38%
● あまりそう思わない	14%
● そう思わない	8%



前期と比べると、保護者の方は、肯定的な回答が増えましたが、児童は否定的な回答がわずかに増えました。学年が上がるにつれて、学習面での難易度も上がり、周りの子と自分を比べるようにもなり、できないと感じる児童が増えるためか、否定的な回答も増えています。一人一人のよさやがんばりをしっかりと認め、自己肯定感や自己有用感を育めるように、「失敗しても大丈夫」「何度でも挑戦しよう」と安心して過ごせる環境づくりを心がけたいです。

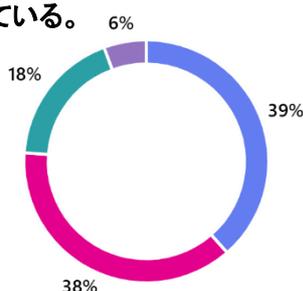
⑤ (保護者)子どもは、気持ちの良い挨拶を自分から進んでしている。

● そう思う	24%
● 大体そう思う	46%
● あまりそう思わない	27%
● そう思わない	3%



(児童)自分から進んで挨拶をしている。

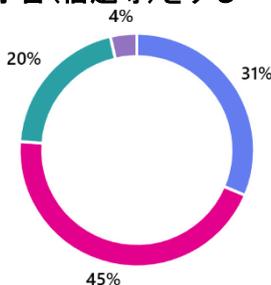
● そう思う	39%
● 大体そう思う	38%
● あまりそう思わない	18%
● そう思わない	6%



前期と比べ、挨拶ができていると回答した数は、保護者はわずかに増えましたが、児童は少しだけ減っていました。あいさつ運動をしている間は、自分から大きな声で挨拶する声が聞こえてきていたのですが、それが終わると聞こえなくなるのが残念です。挨拶をする意味を子どもたちと一緒に考え、継続していけるようにしていきたいです。

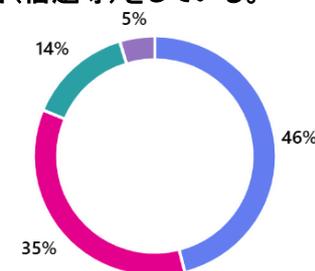
⑥ (保護者)子どもは、進んで家庭学習(宿題等)をする習慣がついている。

● そう思う	31%
● 大体そう思う	45%
● あまりそう思わない	20%
● そう思わない	4%



(児童)自分から進んで家庭学習(宿題等)をしている。

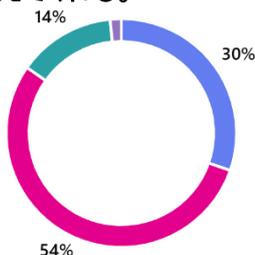
● そう思う	46%
● 大体そう思う	35%
● あまりそう思わない	14%
● そう思わない	5%



全国学テのアンケート調査の結果から、本校の児童が家庭学習に費やす時間が全国と比べて短いことがわかりました。長くすればよいものでもありませんが、毎日こつこつと学習を積み重ねることは大切なことだと考えます。家庭学習の在り方については、新年度に学校からの方針を改めて示しますが、自学自習の力を培っていくためにも、ご家庭でのご協力が不可欠です。その子にあった課題を見つけ、お声かけしていただくと幸いです。

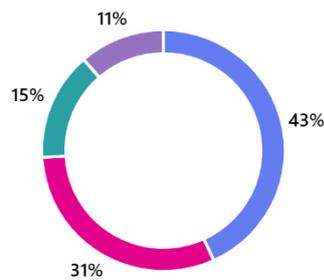
⑦ (保護者)学校は子どもの様子や行事などをホームページやおたより等で伝えてくれる。

● そう思う	30%
● 大体そう思う	54%
● あまりそう思わない	14%
● そう思わない	2%



(児童)家の人に学校での様子を話している。

● そう思う	43%
● 大体そう思う	31%
● あまりそう思わない	15%
● そう思わない	11%

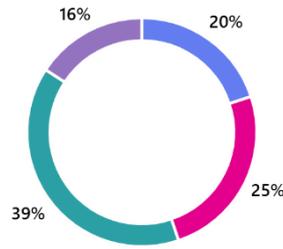


前期と大きな変化はありませんでした。全市で一斉に学校ホームページがリニューアルされましたが、いかがでしょうか？学校での子どもたちの様子をできる限り保護者の皆様にも知っていただけるようにお便りやホームページを通してお伝えしていますが、ぜひ子どもたちとの会話のきっかけにいただき、お子さんからその時のがんばりや感想などを聞いてあげてほしいと思います。お忙しいとは思いますが、よろしくお願いいたします。

⑧ (保護者)子どもは、家で進んで読書をする習慣が

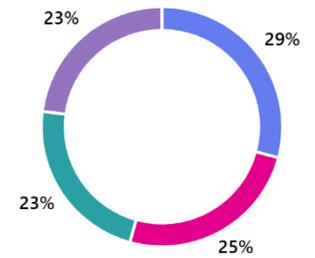
身につけている。

- そう思う 20%
- 大体そう思う 25%
- あまりそう思わない 39%
- そう思わない 16%



(児童)家で進んで読書をしている。

- そう思う 29%
- 大体そう思う 25%
- あまりそう思わない 23%
- そう思わない 23%

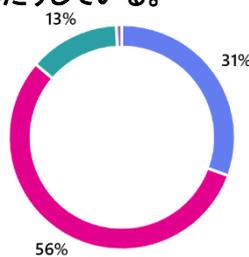


前期と比べ、読書をしていると回答した児童の数が10%近く減っています。今年度、朝の読書タイムをなくしたことで、継続して本を読む時間をつくれなかったのは、学校としても改善すべき点だと考えています。コミュニティ図書館をうまく活用し、本に触れる機会を増やすことで、本を読む楽しさを感じ、読書の習慣を少しでも身につけられるようにしていきたいです。

⑨ (保護者)学校は、子どもの悩みや心配事などを聞いて

くれたり相談に乗ってくれたりしている。

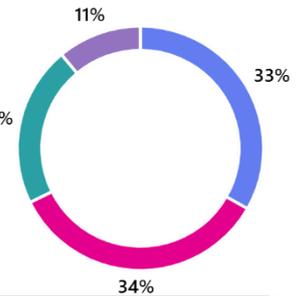
- そう思う 31%
- 大体そう思う 56%
- あまりそう思わない 12%
- そう思わない 1%



(児童)困ったことがあれば、先生に話したり相談したり

している。

- そう思う 33%
- 大体そう思う 34%
- あまりそう思わない 21%
- そう思わない 11%

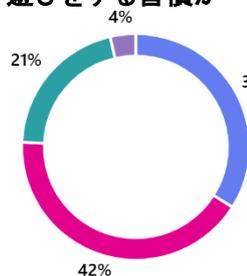


前期と比べ、保護者の回答はあまり変化していませんが、児童の肯定的な回答が減ったことは重く受け止めていかなければなりません。高学年になるほど、否定的な回答が多くなる傾向があり、思春期に入り、相談すること自体をためらう時期になってくるのかもしれませんが、困りを相談できないままに学級で過ごしている児童がいるのは見過ごせません。にこにこアンケート等も活用し、一人一人が安心して過ごせる居場所づくりをしていきたいです。

⑩ (保護者)子どもは、スポーツや外遊びをする習慣が

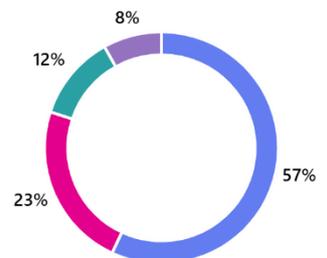
身につけている。

- そう思う 34%
- 大体そう思う 42%
- あまりそう思わない 21%
- そう思わない 4%



(児童)スポーツや外遊びを進んでしている。

- そう思う 57%
- 大体そう思う 23%
- あまりそう思わない 12%
- そう思わない 8%

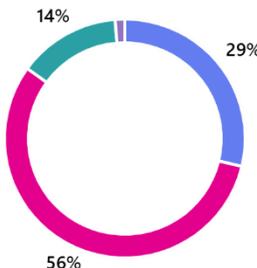


前期と大きな変化はありませんでした。休み時間の運動場の様子を見てみると、ドッジボールをしたり、鬼ごっこをしたりして遊んでいる児童はたくさんいます。また、運動委員会主催の「大縄大会」があった時には、それに向けて練習する姿もたくさん見られました。これからも、子どもたち主体で、体を動かす機会を増やしていきたいです。

⑪ (保護者)テレビやゲーム、インターネットなどの

使い方のルールを話し合って決めている。

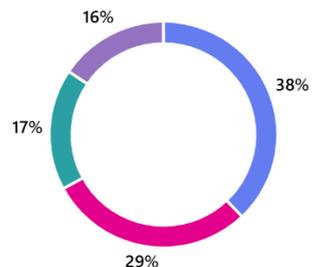
- そう思う 29%
- 大体そう思う 56%
- あまりそう思わない 14%
- そう思わない 1%



(児童)テレビやゲーム、インターネットは時間を決めて

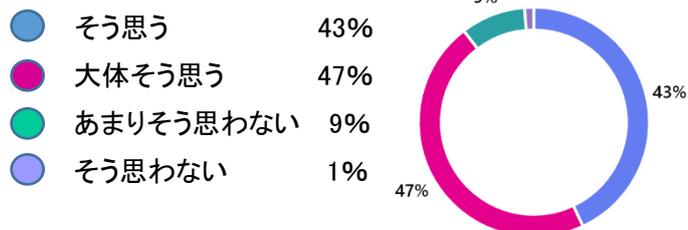
行っている。

- そう思う 38%
- 大体そう思う 29%
- あまりそう思わない 17%
- そう思わない 16%

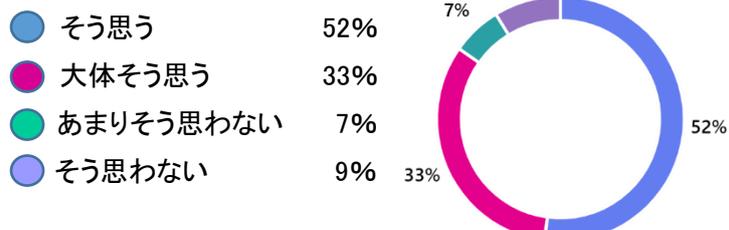


前期と比べると、児童の回答において、残念ながら否定的な回答が少し増えています。テレビやゲームなどが子どもたちを引きつける魅力あるものだと思います。一度始めると、楽しくてやめられない気持ちもわかりますが、そこは保護者や学校がブレーキ役となり、時間の使い方を一緒にコントロールしていけるように支援していきたいものです。長時間の使用は、学習時間の減少、生活習慣の乱れにもつながるので、ご協力よろしくお願いします。

⑫ (保護者)子どもは、基礎的生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身についている。



(児童)早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校している。



前期と比べると、肯定的な回答が少しだけ増えていました。ご家庭でのお声かけのおかげです。生活習慣づくりの基本として、「早寝・早起き・朝ごはん」はとても大切なことです。一度乱れてしまうと、なかなか立て直すことは難しいので、家族みんなで「早寝・早起き・朝ごはん」を合言葉に、生活リズムが崩れないように心がけてほしいと思います。そして、心身ともに元気に登校してきてほしいと思います。